

さっぽろまちキャンリポーター2024 募集要項



札幌市では、札幌市内の大学・短期大学（以下「大学」）に在籍する学生による団体が、地域団体と連携・協働して行うまちづくり活動に対して「[さっぽろまちキャンパス共創事業補助金](#)」（以下「まちキャン」）を交付しています。令和6年度まちキャンでは、この夏から来年2月までの間、さっぽろのまちをキャンパスとして、計11団体が個性あふれる活動を展開します。

このたび、彼らの活動取材し記事にまとめ、Facebookに投稿し、多くの人々にその魅力を伝えていく「さっぽろまちキャンリポーター」を、札幌

市内の大学生から募集します。大学生ならではの視点を活かし、学生団体のリアルを発信する活動にチャレンジしてみませんか？

インターカレッジな交流を通して学びあい

学生が主体となる広報活動へのご参加をお待ちしています！

1 応募資格

下記の要件をすべて満たす方が応募できます。

(1) 札幌市内にキャンパスのある大学に在籍している学生（大学院生を含む）

※ただし公務員、公職にある方は除きます。

<対象となる大学>

※以下の大学に在籍していれば、通学しているキャンパスが札幌市外でも対象となります。

光塩学園女子短期大学、札幌医科大学、札幌市立大学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、札幌学院大学、札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部、札幌大学、札幌保健医療大学、天使大学、東海大学、日本医療大学、藤女子大学、北星学園大学・北星学園大学短期大学部、北海学園大学、北海商科大学、北海道医療大学、北海道科学大学、北海道教育大学、北海道大学、北海道武蔵女子大学・北海道武蔵女子短期大学

(2) 本プロジェクトの趣旨を理解し、熱意・主体性・責任をもって活動に参加

できる方

2 任期

令和6年（2024年）8月中下旬から令和7年（2025年）3月21日まで

3 活動内容（概要）

概要は次のとおりですが、その他にも様々な活動を予定しています。別紙も合わせてご確認をお願いいたします。

- ・まちキャンで実施する取組・イベントや学生団体への取材
- ・Facebook 投稿用の記事（原案）の作成
- ・会議への参加（月1回、計8回程度）

4 留意事項

- ・活動終了後に、報奨品として10,000円分の商品券をお渡しします。支給要件は別紙をご確認ください。
- ・活動内容の様子を写した写真・動画などを、札幌市公式ホームページや報道機関等に公開する可能性があります。
- ・活動実施中のケガ等に備え、傷害保険に加入していただきます。費用は札幌市で負担します。
- ・活動に必要な物資（メモ帳、ペン、カメラなど）は札幌市では用意できかねますので、お手持ちのものを活用してください（写真撮影はスマートフォンなどで構いません）。

5 応募・選考方法

(1) 募集人数

20名程度

(2) 申込期間

令和6年7月12日（金）～8月2日（金）※締切厳守

(3) 申込方法

別添の「さっぽろまちキャンリポーター2024 申込書」に記入のうえ、「6 問い合わせ」に記載のメールアドレスまで、メールでご提出をお願いいたします。

(4) 選考面接

日時：令和6年8月9日（金）PM ※時間は別途、応募者と調整。

場所：札幌市まちづくり政策局南東会議室

（札幌市中央区北1条西2丁目5階）

6 問い合わせ

札幌市 まちづくり政策局 政策企画部 公民・広域連携推進室
産学官連携担当係 担当：猪瀬、岡田

メール：sangakukan@city.sapporo.jp 電話：011-211-2281

※ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください！

別紙 さっぽろまちキャンリポーター2024 活動の詳細等

1 さっぽろまちキャンリポーターの任命

参加する学生には、「さっぽろまちキャンリポーター」（以下「リポーター」）を任命しますので、リポーターを名乗って活動していただきます。もちろん、お手持ちの名刺に記載するなどしていただいても構いません。

リポーターの活動は、札幌市の活動となりますので、**高い責任感と倫理観**、そして**誇り**をもっていただき、**熱意と主体性**をいかに発揮して取り組んでください。

2 活動内容の概要

2～3名でチームを組み（予定）、最低限、下記の活動を実施していただきます。

- ・まちキャンで実施する取組・イベントや学生団体への取材
 - 取材対象の団体や活動内容は[本市ホームページ](#)をご覧ください。
- ・Facebook 投稿用の記事（原案）の作成
 - 写真撮影、アイキャッチ用画像の作成、記事ライティング、記事の校正など、チームで役割分担をしながら作成してください。
- ・まちキャンレポート活動推進会議への参加（月1回、計8回程度）
 - 担当する取材対象の団体の割り当てや、チームの役割分担などを話し合うほか、リポーター同士の交流の場を創出するため、会議を実施します。
 - 1回あたり1時間半程度（平日の18時からを予定）
 - 開催場所は、市内中心部に近い貸会議室や、札幌市役所庁舎内の会議室を予定
 - 原則として対面での参加とするが、オンラインも可能

このほか、リポーターからの発案でより効果的な発信に取り組んでいただくことも可能です。

3 活動内容の拡張性

より効果的な発信方法について、こちらで想定しているものを3つ記載しますが、これらにとらわれず、柔軟な発想で企画し提案してください。リポーターだけでなく、民間企業などにも加わってもらう予定ですので、たくさんの方との対話を通じて、ワクワクできる活動をしていきましょう。

(1) Instagram 等の SNS への横展開

Facebook が不得手としている若い世代への発信力強化のため、更なる SNS への横展開を検討します。活用する SNS の特性を踏まえ、効果的な発信方法（ショート動画の作成等）を合わせて検討します。

(2) Facebook に投稿した記事のアーカイブ

投稿記事が流れていく（整理されない）課題を解消するため、アーカイブ化を検討し

ます。たとえば、新たにウェブサイトを立てるなどの方法も考えられるので、**コーディングのスキルを持つ学生**の応募も歓迎します。

(3) 記事をまとめたリーフレットの作成

記事を単にアーカイブするだけでなく、編集・デザインを施し、リーフレットを作成することを検討します。**デザインを学んでいる学生**の応募も歓迎します。

4 リポーターにとってのメリット

- ・ さまざまな大学から学生が集まりますので、**多様な交流**が生まれます。
- ・ 異なる強み（ライティング、写真撮影、コーディング、デザインなど）を持つリポーターたちが集まり、**協働して一つのアウトプット（記事）を作成する経験**は、自身の成長に繋がります。
- ・ 学生団体の行うまちづくり活動を取材対象とするので、同年代の学生の活躍に触れ刺激になるとともに、**自身の視野・興味関心を広げることが**できます。
- ・ 8回程度の会議のうち数回、**プロフェッショナルな講師（新聞記者や Webライターなどを想定）から講演**をいただく機会を設けますので、**スキルアップ**が望めます。
- ・ 決められた内容だけではない**拡張的な取組を行うことができる**ので、企画・立案能力を発揮し、伸ばすことができます。
- ・ これらの活動を通して得られた貴重な経験は、**学生のときに力を入れたこと（ガクチカ）**の一つとなるでしょう。

5 報奨品の支給要件

活動終了時に「リポーター実施報告書」を提出する（必須）ほか、おおむね下記の参加状況を満たしている方に限り、報奨品として 10,000 円の商品券をお渡しいたします。

- ・ 取組・イベントや学生団体への取材を 1 回以上行うこと
- ・ Facebook 投稿用の記事（原案）について、2 件以上の作成に関与すること
- ・ 会議の 8 割以上に参加すること

楽しいのはもちろんのこと、みなさんの成長に繋がる活動を一緒に作っていきたいと考えています。たくさんのご応募お待ちしております！